



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 ソレキア株式会社
コード番号 9867 URL <http://www.solekia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,799	△1.6	△27	—	△3	—	△36	—
27年3月期第2四半期	9,959	2.0	20	△77.8	54	△55.5	28	△47.5

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 △80百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 38百万円 (△34.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△42.22	—
27年3月期第2四半期	32.87	—

※当社は、平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,742	5,741	48.9
27年3月期	12,713	5,874	46.2

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 5,741百万円 27年3月期 5,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	6.00	6.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、平成28年3月期の配当の状況につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	2.6	170	△51.7	195	△53.1	70	△63.0	80.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当社は、平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、平成28年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	1,016,961 株	27年3月期	1,016,961 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	148,429 株	27年3月期	148,110 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	868,736 株	27年3月期2Q	869,158 株

※当社は、平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を計算しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期の前半は安定的な円安・株高を背景に、企業業績も好調を維持し、個人消費も持ち直すなど景気の回復基調が鮮明化しましたが、後半になると円安・株高にも一服感が見られると共に、新興国を中心とした経済の減速などを受けて輸出や生産の停滞が響き、製造業を中心に業況判断が悪化するなど、景気の下振れリスクが懸念される状態となっております。

企業のICT投資につきましては、IT基盤の整備・充実など戦略投資への意欲の高まりはあるものの、政府の成長戦略の手詰まり感の他、米国の利上げ観測や世界経済の更なる減速懸念など、海外景気の先行き不透明感から慎重な姿勢を継続しております。

このような経営環境のもと、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、パソコンとフィールドサービスの売上が減少し、97億99百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

損益面につきましては、販売費及び一般管理費は減少しましたが、国内外子会社を含めた売上高の減少に加え原価率が増加したことにより、営業損失27百万円（前年同期は20百万円の営業利益）となり、営業外収支は黒字だったものの、経常損失3百万円（前年同期は54百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円（前年同期は28百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）の計上となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、前年同期に大口更新需要で増大したパソコンや大規模システムの展開作業で伸長したフィールドサービスの反動減により、売上高は55億90百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

損益面につきましては、減収が損益の下押し要因となりましたが販売費及び一般管理費が減少したことから、営業利益6百万円（前年同期は31百万円の営業損失）となりました。

「東日本」は、情報・通信機器とシステムソリューションの売上が減少し、売上高は20億96百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

損益面につきましては、減収と保守サービス部門の移動悪化により、営業利益58百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

「西日本」は、電子デバイスが減少となりましたが、フィールドサービス、システムソリューションが増加し、売上高は20億15百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加により、営業利益77百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、9億70百万円減少し、117億42百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が4億19百万円、仕掛品が45百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が11億55百万円、商品が1億79百万円減少するなど、流動資産が8億72百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、8億36百万円減少し、60億1百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が4億52百万円、未払法人税等が51百万円減少するなど、流動負債が7億94百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億33百万円減少し、57億41百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が88百万円、その他有価証券評価差額金が45百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、4億19百万円増加し、35億35百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、4億78百万円（前年同期比66百万円減）となりました。その主な要因は、仕入債務の減少額4億52百万円、未払消費税等の減少額1億62百万円、法人税等の支払額73百万円などによる資金の減少があった一方、売上債権の減少額11億60百万円などによる資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、6百万円（前年同期は1億99百万円の減少）となりました。その主な要因は、保険積立金の払戻による収入18百万円などによる資金の増加があった一方、有形固定資産の取得による支出25百万円などの資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、52百万円（前年同期は61百万円の減少）となりました。この主な要因は、配当金の支払額52百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案し、平成27年5月12日に公表いたしました通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成27年11月6日）公表いたしました「平成28年3月期第2四半期（累計）業績予想値と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,116,262	3,535,315
受取手形及び売掛金	5,557,404	4,402,092
電子記録債権	110,905	105,663
商品	848,650	668,949
仕掛品	135,354	181,029
その他	251,030	255,048
貸倒引当金	△973	△1,933
流動資産合計	10,018,634	9,146,164
固定資産		
有形固定資産	1,183,135	1,171,848
無形固定資産	164,223	142,446
投資その他の資産		
投資有価証券	369,866	308,713
敷金及び保証金	558,446	556,254
繰延税金資産	357,989	357,212
その他	67,538	66,663
貸倒引当金	△6,603	△6,611
投資その他の資産合計	1,347,236	1,282,233
固定資産合計	2,694,595	2,596,528
資産合計	12,713,230	11,742,692
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,033,704	2,580,943
短期借入金	1,080,000	1,080,000
未払法人税等	86,384	34,972
賞与引当金	367,700	349,200
役員賞与引当金	13,000	—
受注損失引当金	16,087	23,623
その他	891,843	625,282
流動負債合計	5,488,719	4,694,022
固定負債		
役員退職慰労引当金	90,494	89,246
退職給付に係る負債	1,195,641	1,154,501
資産除去債務	63,434	63,904
固定負債合計	1,349,570	1,307,652
負債合計	6,838,290	6,001,675

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,610	2,359,610
利益剰余金	1,405,198	1,316,386
自己株式	△248,185	△249,039
株主資本合計	5,809,631	5,719,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,666	59,188
為替換算調整勘定	△39,356	△38,135
その他の包括利益累計額合計	65,309	21,053
純資産合計	5,874,940	5,741,017
負債純資産合計	12,713,230	11,742,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,959,450	9,799,933
売上原価	8,242,354	8,172,769
売上総利益	1,717,095	1,627,163
販売費及び一般管理費	1,696,347	1,654,747
営業利益又は営業損失(△)	20,747	△27,584
営業外収益		
受取配当金	6,358	7,974
保険返戻金	—	18,386
為替差益	11,046	—
助成金収入	10,522	—
その他	11,540	5,895
営業外収益合計	39,468	32,256
営業外費用		
支払利息	4,038	3,816
支払保証料	1,736	1,438
為替差損	—	2,839
その他	97	426
営業外費用合計	5,872	8,521
経常利益又は経常損失(△)	54,343	△3,849
特別利益		
投資有価証券売却益	19,341	—
特別利益合計	19,341	—
特別損失		
投資有価証券売却損	1,201	122
特別損失合計	1,201	122
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72,483	△3,972
法人税、住民税及び事業税	15,747	16,180
法人税等調整額	28,169	16,528
法人税等合計	43,917	32,708
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,566	△36,681
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	28,566	△36,681

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,566	△36,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,584	△45,477
為替換算調整勘定	△13,061	1,221
その他の包括利益合計	9,522	△44,256
四半期包括利益	38,088	△80,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,088	△80,937

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72,483	△3,972
減価償却費	61,471	59,805
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,179	967
賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,400	△18,500
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,000	△13,000
受注損失引当金の増減額(△は減少)	663	7,536
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△1,248
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△40,022	△41,144
受取利息及び受取配当金	△7,498	△8,892
支払利息	4,038	3,816
有価証券売却損益(△は益)	△18,140	122
保険返戻金	-	△18,386
売上債権の増減額(△は増加)	2,570,269	1,160,863
たな卸資産の増減額(△は増加)	87,052	134,174
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,908,418	△452,954
未払消費税等の増減額(△は減少)	91,162	△162,675
その他	△86,535	△99,249
小計	755,306	547,263
利息及び配当金の受取額	6,504	8,370
利息の支払額	△4,314	△3,590
営業保証金の受取額	180	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△212,882	△73,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	544,793	478,585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,680	△1,480
投資有価証券の売却による収入	40,981	227
有形固定資産の取得による支出	△236,094	△25,193
ソフトウェアの取得による支出	△1,366	△620
保険積立金の払戻による収入	-	18,822
敷金及び保証金の差入による支出	△1,394	△958
敷金及び保証金の回収による収入	1,438	3,072
その他	△1,183	△413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,298	△6,543
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額(△は増加)	△646	△854
配当金の支払額	△60,850	△52,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,496	△52,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,253	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	285,252	419,052
現金及び現金同等物の期首残高	3,144,099	3,116,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,429,351	3,535,315

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,776,456	2,176,293	1,911,281	9,864,030	95,419	9,959,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,210	—	—	16,210	244,320	260,530
計	5,792,666	2,176,293	1,911,281	9,880,240	339,739	10,219,980
セグメント利益又は損失(△)	△31,554	78,748	63,716	110,910	10,423	121,334

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	110,910
「その他」の区分の利益	10,423
セグメント間取引消去	246
全社費用(注)	△100,833
四半期連結損益計算書の営業利益	20,747

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,590,008	2,096,718	2,015,903	9,702,631	97,302	9,799,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,682	—	57	7,739	139,611	147,351
計	5,597,691	2,096,718	2,015,960	9,710,370	236,914	9,947,285
セグメント利益又は損失(△)	6,098	58,422	77,682	142,203	△32,605	109,598

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	142,203
「その他」の区分の利益	△32,605
セグメント間取引消去	325
全社費用(注)	△137,507
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△27,584

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。